

令和5年4月7日

令和5年度 静岡大成中学校・静岡大成高等学校入学式学校長式辞

春の暖かさを感じる季節となりました。本日、静岡大成中学校・静岡大成高等学校の入学式が挙行できましたことを大変うれしく思います。ご来賓の皆様方には、ご多用の中ご臨席を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

静岡大成中学校・高等学校は、今年で創立120年を迎えます。創立者の杉原正市先生は、当時の男性中心社会の中で、「時代に即応する新しい女性の育成」という建学の精神を掲げ、新しい社会を目指した教育を実践しました。現在の建学の精神「時代に即応する新しい人材の育成」は、その精神を引き継ぎ、新しい社会を創る人を育てます。

中学1年生47名、高校1年生220名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。今日から皆さんは静岡大成中学校・静岡大成高等学校の生徒です。この学校の生徒であることに誇りを持ってください。そして、自分の目標に向かって、楽しく、前向きに、あきらめずに前に進んでいきましょう。

今年度から、中学と高校1年は、一人の生徒に3人または4人の担任がつく「チーム担任制」を実施します。中学はA組とB組を3人の担任が担当します。高校1年は、1組～3組を4人、4組・5組を3人、6組・7組を3人の担任が担当します。つまり、皆さん一人ひとりに3人または4人の担任がつくこととなります。質問や相談ごとなどがあればどの先生に相談しても大丈夫です。担任の先生たちも、複数の目で皆さんを見ることで、生徒一人ひとりに合ったアドバイスや支援ができるのではないかと思います。そういう中で、生徒と先生の信頼関係を作り、今まで以上に対話のある学校にしていきたいと思っています。

さて、皆さん、この3年間、何かやってみたいことはありますか。目標にしていることはありますか。ある人はもちろん、ない人も、ぜひ考えて達成できるよう努力してください。当然ですが、それらは自分で考え、自分で決めて、自分で実行することです。目標を達成するためには、自分で考えて決めることが一番大事なことです。

学校の中心は言うまでもなく勉強です。だとすれば、勉強も自分で考え、自分で決めて、自分で実行することが一番大事なことだと思います。つまり、「自ら学ぶ」ということです。与えられたものをやるよりも、自分で考え決めたことをやるほうが、よりいっそうやる気が出るというものです。「教わる」から「学ぶ」に、考え方を変えていきましょう。自分のペースで進めることができれば、勉強することが楽しくなるかもしれません。いやきっと楽しくなります。私たちは、皆さんが、「自ら学ぶ」ことができるように、また、勉強だけでなく、部活動やその他学校生活において、自ら考え、実行することができるように、対話を通じて支援していきます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。本校にお子様を入学させてくださったことに感謝申し上げます。地元から離れた学校への通学、中学生は夜の授業など、いろいろとご不安なこともあるかと思いますが、どうぞご安心ください。私たちは、保護者の皆様と、対話を通じて情報交換や意思疎通を図って参ります。また、チーム担任制によって、多角的な視点から生徒と接することで、生徒へのより良い支援ができると信じております。

一つお願いしたいことは、先ほど申し上げたように、教職員は、生徒が自分で考えて行動することを支援していきます。それは、「必要以上に手をかけたり、丁寧に教えすぎたりすることではない」ことを、ぜひご理解いただきたいと思います。また、ご家庭におかれましても学校と歩調を合わせて、お子様と接していただければ大変ありがたく存じます。

では、新入生の皆さん、自分の飛躍と成長のために、チャレンジしていきましょう。